

2022夏が好き！本が好き！！

～先生方が薦めるこの夏の1冊～



関口校長先生のおすすめは…

913.6-3『ミス・サンシャイン』 吉田 修一 || 著 文藝春秋

「ミス・サンシャイン」。素敵なおネーミングですが実は長崎で被爆した和楽京子という日本人女優を揶揄したアメリカの映画会社によるキャッチフレーズでした。ハリウッドで活躍した彼女ですが、被爆者としてかつての敵国でこのような扱いを受け、さらに日本人への差別、国内での女性蔑視など厳しい時代を過ごしてきましたが今も気高く上品に、静かに生きています。

ゼミの担当教授の依頼で、鈴さんこと「和楽京子」の家に通うことになった大学院生の岡田一心が資料の整理、鈴さんとの温かい交流を通して、昭和という時代を駆け抜けた大女優の波瀾万丈の人生をなぞるように進む物語です。80代の彼女のひととなり、そして深い悲しみを抱えて歩んで来た人生に触れ、一心は自分の人生に向き合っていきます。

いろいろな思いがじんわりと伝わってくる、まるでモノクロのノスタルジックな映画を観たような素敵な読後でした。この本の装丁も素晴らしいと感じました。

中村副校長先生のおすすめは…

B913.6-7『非色』 有吉 佐和子 || 著 河出書房新社

2020年11月に文庫化された本です。刊行は1967年。図書館にもあります。

私にとっては有吉さんと言えば、学生時代に読んだ『華岡青洲の妻』です。そしてこちらの本の内容も女性の視点にたったもの。時代背景は戦後間もないころ。主人公がNYで出会う様々な人種差別と偏見の描写が心に刺さります。

読むたびに現在にも共通する事柄を含んでおり、それを連想してしまうのは私だけだろうか。

遠山教頭先生のおすすめは…

S370-7『現代語訳 学問のすすめ』 福澤諭吉 || 著 斎藤孝 || 訳 筑摩書房

近代日本最大の啓蒙思想家福澤諭吉の『学問のすすめ』の現代語訳版。

学問をすることの意義、判断力の鍛え方など今の時代でも十分通じる内容で感銘を受ける。またざっくりとして快活、勢いのある福澤の人柄が文章に表れていて非常におもしろい。

青木先生のおすすめは…

B913.6-ミ『岬』 中上 健次 || 著 文藝春秋

2020年に『推し、燃ゆ』で芥川賞を受賞した宇佐美りんさんは、いつもバッグにこの本を入れて、暇があれば繰り返し読んでいたそうです。

殺人・精神病・近親相姦などショッキングなモチーフが多くとっつきにくい作品ですが、その根本にある人間のるつぼの温かみのようなものを感じることができれば、その魅力に取りつかれること間違いなしです。

昭和の時代、和歌山県新宮市にかつてあった被差別部落地域（先生は聖地巡礼旅行もしました）での、ある夏の物語です。

秋野先生のおすすめは…

913.6-7『チア男子!!』 朝井 リョウ || 著 集英社

実在する男子チアリーディングチームを題材にした物語です。

阿部先生のおすすめは…

B913.6-ミ『Nのために』 湊 かなえ || 著 双葉社

超高層マンション「スカイローズガーデン」の一室で、そこに住む野口夫妻の変死体が発見された。なぜ夫妻は死んだのか、それぞれが想いを寄せるNとは誰なのか…という内容の純愛ミステリーになっています。

本を読むのが苦手な人でも読みやすいので、ぜひ読んでみて下さい！

伊久美先生のおすすめは…

①B913.6-7『平家物語 犬王の巻』 古川 日出男 || 著 河出書房新社

能楽師の家に生まれた異形の子とも、壇ノ浦で生まれて盲目になった少年が、あちこちに散らばった「平家」の話を拾いあつめて語る話。映画も公開しているので、ぜひ劇場へも足を運んで見届けて欲しい。

②767-オ『超歌手大森靖子の超一方的完全勝利』 大森 靖子 || 著 東京ニュース通信社

「なんの匂いかわからないけど、なにかの植物がなにかの季節を告げている。持ち手の細くなったビニ袋をぶら下げて、めがけている人がいる、めがけている家がある、はやくたどり着きたいけど、たどり着けない今だって、とても幸せだと思った。」(本文より引用)

頭の中を覗かせてもらって、解像度の高さに驚き続けるエッセイ集。

稲本先生のおすすめは…

①913.6-オ『蜜蜂と遠雷』 恩田 陸 || 著 幻冬舎

この本のおびに書いてあった「音楽が聞こえてくる」というフレーズに引き寄せられ、上下巻を一気に読んでしまいました。

ささやかながら、でも確かに音があふれ出てきたような…

おびにうそはないと思った作品でした。

②913.6-7『六人の嘘つきな大学生』 浅倉秋成 || 著 KADOKAWA

某テレビ番組で紹介されていたのを見て、読んでみました。

内容はミステリーっぽい所もあり、だれでもスッと読めると思います。ただ、読み終わったとき、「人間」が一番こわいかもしれないと感じふと感じてしまうそんな一冊です。

大庫先生のおすすめは…

①913.6-オ『52ヘルツのクジラたち』 町田 そのこ || 著 中央公論新社

2021年本屋大賞受賞作です。

まずはこの題名『52ヘルツのクジラたち』の意味は何か？「52ヘルツのクジラ」とは、他の鯨が聞き取れない高い周波数で鳴く、世界で一頭だけのクジラで、たくさんの仲間がいるはずなのに何も届かない、何も届けられない。そのため、世界で一番孤独だと言われている。

この本を読み始めると、次はどうなるのかとだんだん引き込まれていくように感じられ、次々と登場する人物の背景に何があるのか興味が湧いてくる。そして、現在の社会が抱えている社会問題が見え隠れしているようにも思われる。是非読んでみてください。

大鶴先生のおすすめは…

493-カ『スマホが学力を破壊する』 川島 隆太 || 著 集英社

いろいろと紹介したい本はありますが、今回は敢えてこの本を紹介します。みなさんは、一日にどのくらいスマホやタブレットを使いますか？スマホの使用時間、頻度が脳にどのような影響を及ぼすか、ご存知でしょうか？スマホ世代のみなさんにぜひ読んでもらい、スマホ、タブレットとの適切な付き合い方を学んで欲しいです。アンデシュ・ハンセン博士の『スマホ脳』も合わせて読んでもらいたい一冊です。

大畠先生のおすすめは…

①E-3『みえるとかみえないとか』 ヨシタケ シンスケ || さく アリス館

主人公の宇宙飛行士のぼくが降り立ったのは3つ目のある宇宙人の暮らす星。

そこで様々な宇宙人に会い、見え方・感じ方が異なることを発見していきます。

多様性について理解を深めることができる絵本です。幼児教育者・保育者を目指すみなさんへ特におすすめします。

②E-ナ『そらまめくんの まいにちは たからもの』 なかや みわ || さく 小学館

みなさんは子供の頃にそらまめくんシリーズの絵本を見たことがありますか？

今回のお話はそらまめくんと仲間たちが四季の行事や遊びを楽しみながら物語が展開します。子供向けの絵本ですが読み終えると大人でも心が温かくなる癒しの絵本です。季節感溢れる背景画も見どころです。

奥村先生のおすすめは…

913.6-オ『あつあつを召し上げれ』 小川 糸 || 著 新潮社

食べることが好きな人におすすめの、読んでいておなかがすいてくる、ごはん小説です。作者の小川糸さんの食べ物の描写は本当に生き活きとしていて、目の前に食べ物があるように錯覚させてくれます。それぞれ独立した短編小説が7編収められているのですが、私のおすすめは「こーちゃんのおみそ汁」です！ぜひ読んでみて下さい。

鹿島先生のおすすめは…

159-キ『+1cm たった1cmの差があなたの世界をがらりと変える』 キムウンジュ || 文 ヤンヒョンジョン || イラスト 文響社

自分の視点を変えることで新たな世界が見えてきます。この本を読んで、凝り固まった考え方をほぐしてあげましょう。

加藤先生のおすすめは…

209-ナ『読むだけですっきりわかる世界史』 後藤 武士 || 著 宝島社

世界史と言うと暗記事項が多すぎて苦手としている人も多いと思いますが、この本ではそんな難解な世界史をととても平易な文章で著述し、1冊で古代から現代社会に至るまでの世界各国・地域の歴史を網羅しています。著者の後藤氏は、いわゆる歴史学者でも教員でもなく世相評論家として活躍している方です。歴史の専門家ではないからこそ、本来は複雑な世界史を平易な言葉や例え話で解説しています。教科書を読むのはちょっと億劫だと思っている人もこの本なら楽しく読みすすめることができると思います。

上村実紅先生のおすすめは…

913.6-ホ『武士道シックスティーン』 菅田 哲也 || 著 文藝春秋

この作品、昨年も紹介しているのですが是非皆さんに読んでほしい！という私の希望から、今年も紹介させていただきます！

剣道に青春を捧げる二人の女子高生を、ユーモラスにそして爽やかに描いた作品です。実はこの二人、「剣道」という共通点はあるものの性格は正反対、剣道に対する考え方も全く違います。そんな二人が剣道を通じて成長する姿は、大人になった今読んでも心を動かされます。

暑い夏、二人の剣道ガールに思いを馳せながら、みなさんも一緒にアツくなってみてはいかがでしょうか？

京極先生のおすすめは…

767-ガ 『GACKT 超思考術』 GACKT || 著 サンクチュアリ出版

「成功者とは、実力で運を掴み取る者たちのこと。」

思考が行動を支配し、全ての結果を生み出す。話し方、考え方、結果の出し方、生き方。どうしたら強く生きることができるのか？GACKT さんが語ります。

木村先生のおすすめは

913.6-オ『ひと』 小野寺 史宜 || 著 祥伝社

20歳の聖輔は両親を亡くし、一人になった。大学を退学し、総菜屋でアルバイトをするところから物語は始まる。惣菜屋の主人と奥さん、共に働く仲間と大学の友人、偶然出会った郷土の同級生などに関わりながら、聖輔は成長していく。

腐らず僻まず純粋な気持ちをもつ聖輔に共感し、人とのつながりの大切さを実感できる1冊。

楠見先生のおすすめは…

913.6-コ『タルト・タタンの夢』他 近藤 史恵 || 著 創元社

商店街の小さなフレンチレストラン「ビストロ・パ・マル」に来るお客さんは、不可解な謎を抱える人ばかり。常連の西田さんが体調を崩したわけは？チョコレートの数が割り切れない理由は？シェフの三舟はそんなお客さんの小さな謎を毎回さらっと解いていきます。

フランス料理にも詳しくないし、ミステリー小説をいつも難しく感じてしまう私ですが、シリーズ3作、楽しくサクッと読めました。登場するフランス料理が美味しそうで、そんな所もおすすめです。3作すべて図書館で借りられるので、ぜひ読んでみてください。

栗山先生のおすすめは…

B913.6-ワ『受験のシンデレラ』 和田 秀樹 || 著 小学館

「受験界のカリスマ」と呼ばれ富も名声も手にしていた塾講師が、ある日余命半年という宣告を受けます。そんな彼が、偶然入ったスーパーで抜群の計数感覚で店員とやりあう少女を見かけて……

カリスマ塾講師と経済的な事情で高校を中退した少女が二人三脚で東大を目指すサクセスストーリーです。「共通テスト」が「センター試験」だったり、消費税も10%ではなかったりと少し前の時代の話ですが、受験のノウハウもいっぱい詰まっています、読むだけで勉強になります！私自身は今は「重松清ブーム」なのですが、高校生にはやっぱりこの本を推薦したいです！！

倉持先生のおすすめは…

399-I 『徹底図解 孫子の兵法』 榎本 秋 || 著 新星出版社

「兵は詭道なり」。「風林火山」の旗印で有名な武田信玄と軍師・山本勘助らが愛用した言葉である。意味は、戦とは敵軍を騙し、惑わし、奇策を弄して裏をかく、といったものという。そして、最善の勝利は、戦をしないで済ませること、と説く。世界中の偉人も愛読した「孫子の兵法」（孫子は春秋・戦国時代の奇才の軍師）は、現代の物事（仕事、スポーツ、自己実現など）の成功のために、現代人にも愛読されている。それはビジネスマンが経営の必勝策や不敗策を見出そうと、様々な哲学書の傍らから手に取る様子をみればよくわかる。例えば「勝ち易きに勝て」は「名手にファインプレーなし」に通じ、「彼を知りて己を知れば、百戦殆からず」は、相手と味方の事情をよく心得なければ、勝利（成功）に不可欠な客観的予測ができない、などである。個人的には、「極めれば無形に至る」、極めればどんな状況も臨機応変に対応できること、「主民、人心一つにすべき」、いかに組織が優秀でも人心が通じていなければ脆いこと、などを理想とする。見やすい図解でぜひ一読を。

小林翔太郎先生のおすすめは…

B913.6-9 『桜のような僕の恋人』 宇山 佳佑 || 著 集英社

中島健人が主演で Netflix で映像化されています！！カメラマン見習いの青年と、ファストフォワード症候群を患った女性との恋愛小説です。

自分より数倍の速度で年をとってしまう彼女をずっと想い続ける主人公。本当にとっても悲しくなりますが、価値観が変わる 1 冊です！！

佐久本先生のおすすめは…

929-ク 『そこに行けばいいことがあるはず』 ク作家（ク・キョンソン） || 著 ワニブックス

韓国好きなので、韓国のベストセラーチェックをしていて、私が日頃から書名と同じようなことを思っているのと、うさぎのイラストが可愛くて、読もう！と思いました。

本の内容を簡単に書くと、ク作家自身のお話です。小さい頃から耳が聞こえない上に、将来視力まで奪われる病気を患っていることが判明したク作家ですが、落ち込んでいる暇はないぞ！温かい手が残っているぞ！今のうちにやりたいことをやるぞ！とって世界を旅して、感じたことや気づいたことをまとめているエッセイ集です。ないものを悔やむのではなく、あるものをどのように大切に生かして生活をしていくのか、普段私たちが気づかずスルーしてしまうような些細なことを、改めて気づかせてくれる本ですが、道中のお話なので面白かったです。

電子書籍で買いましたが、読みやすかったのでみなさんも是非！

重田先生のおすすめは…

209-コ-15 『興亡の世界史 第 15 巻 東インド会社とアジアの海』 羽田 正 || 著 講談社

普段何気なく話している「ことば」ですが、それにはその国の伝統や文化が反映されています。この本にはそのことばを母国語としていないと意味をつかみ取りにくい、そんなことばが集められています。

例えば北欧で話されるフィンランド語の PORONKUSEMA は、「トナカイが休憩なしで疲れず移動できる距離」という意味をこれ一語で表します。このことばには、現地の人々にとってトナカイが身近な存在であり、日々の生活に利用してきたということが現れています。

ことばを通じて、世界に暮らす人々の暮らしに思いをはせてみませんか。本校の図書館に所蔵されていますので、読んでみてください。もし面白いと思ったなら、同じ著者が書いている『誰も知らない世界のことわざ』もおすすめです。

迫先生のおすすめは…

①141-カ『ファスト&スロー』 ダニエル・カーネマン || 著 村井 章子 || 訳 早川書房

心理学や行動経済学と呼ばれる分野の一般書は、何といても紹介される実験の奇抜さと結論の意外性が魅力。人は冷静に考えたつもりでも非合理的な選択をしがち、というのは皆うすうす感じるところかと思うが、この本は我々の脳がいかにか意識できない領域にコントロールされているかを様々なデータと愉快的実験（soop-何が入る？）で明らかにした上、巷間のマーケティング戦略に引っかけられないためのコツも示してくれる。原著はいくつかの大学で英語の入試問題に使われているようなので、受験生は読んでおくといいいことがあるかも。

②B913.6-マ『告白』 町田 康 || 著 中央公論新社

小説は中身もさることながら、語り口とリズムを重視する派です。町田康「告白」は明治時代に河内で起きた殺人事件に取材した重たい長編小説ですが、半グレ主人公の喋りが河内弁全開で小気味よく、また全編が町田作品らしいユーモアに溢れていてどんどん読めます。中盤の猛烈な盆踊りは圧巻。終盤から急速に増していく緊迫感と読後の後味の悪さは大分経った今も鮮明に覚えています。猛暑の中読み返したくなる一冊。

Joy 先生のおすすめは…

933-ユ『The House on Mango Street』 Sandra Cisneros || 著 Vintage

It tells the story of Esperanza Cordero, a young Latina girl in Chicago who is coming of age and deciding for herself what she will become.

関口先生のおすすめは…

①913.6-ツ『噛みあわない会話と、ある過去について』 辻村 深月 || 著 講談社

「事実の一つであっても、その事実に携わった人の数だけの景色がある。過去とはその人にとっての“景色”であり、ともすればそのひとにとっての“事実”であることを忘れてはならない。」人間は複雑で興味深いなと思う今日この頃です。

②141-ヅ『情報を正しく選択するための認知バイアス辞典』 情報文化研究所 || 著 フォレスト出版

「私は騙されない。」と書いていても、人は簡単にだまされます。自分の信じている“景色”は本当に正しいのでしょうか。

③463-ク『時間の分子生物学—時計と睡眠の遺伝子—』 桑 和彦 || 著 講談社

「生き物はなぜ眠るのか？」誰もが一度は考えたことがあるのではないのでしょうか。そんな難問に遺伝子からどれくらい迫れるかを教えてくれる一冊です。

染谷孝先生のおすすめは…

836-セ『世界一わかりやすい英作文の授業』 関 正生 || 著 KADOKAWA

「ネコの手も借りたい！」これを英語にしたら何になると思いますか？

• I want to borrow... cats' hand??

実はこれ、中学生ならだれでも知っている単語で文が書けるのです。英作文が苦手なあなたに、ぜひ一度読んでほしい一冊です。

（答え：I am very busy. 「ネコの手も借りたい」→「超忙しい」）

染谷凌平先生のおすすめは…

B913.6-イ『イニシエーション・ラブ』 乾 くるみ || 著 原書房

恋愛小説らしいのですが、とにかく最後が面白い！ぜひ最初からコツコツ読んでみてください！

高橋貴与人先生のおすすめは…

837-7『日常のリアルなひとこと ためぐち英語』 トーマス・K・フィッシャー || 著 高橋書店

ネイティブが日常的に使っている、友だちとしゃべるみたいな、気軽に等身大の英語が紹介されています。読んでいて楽しくなる本です。

田中先生のおすすめは…

518-グ『フォトリアルCGで見る世界のSDGsスマートシティ』 エリン・グリフィス || 著 原書房

スマートシティとは、ICT（情報通信技術）と、IoT（モノのインターネット）ネットワークに接続されたさまざまな物理デバイスを統合し、都市の運営とサービスの効率を最適化し、市民とつながることが出来る都市です。日本でもトヨタ自動車が富士山麓に実験都市「ウーブン・シティ」を建設しています。

世界のスマートシティをのぞいてみましょう。

塚田先生のおすすめは…

302-イ『池上彰の世界の見方』シリーズ 池上 彰 || 著 小学館

かつてはNHKで社会部記者やニュースキャスターを歴任し、現在は大学教授やフリーランスのジャーナリストとしてテレビ等でもおなじみの池上彰先生の著者です。池上先生が独自の視点で、世界の国々と地域を解説するシリーズです。私も地理総合や時事の授業の際に池上先生の本を参考にして授業展開をする時もあります。生徒の皆さんもこの夏に池上先生の本に触れて世界の国々がかかえている様々な問題や文化等に興味をもち、積極的に学ぶ夏にはいかがでしょうか。

豊島先生のおすすめは…

783-オ『道ひらく、海わたる～大谷翔平の素顔』 佐々木 亨 || 著 扶桑社

メジャーリーグで活躍している大谷選手の「生き様」「考え方」「人間性」といった面を知ることができます。

“誰もやったことがないことをやりたい” “他人がポイって捨てた運を拾っているんです” 野球を超えた生きるヒントが集結している一冊です。

長野先生のおすすめは…

360-ヤ『未完の敗戦』 山崎 雅弘 || 著 集英社

一人一人の市民の暮らしを豊かにすることや、暮らしの安全を確保することが、なぜか社会の優先順位で第一位にならない。それよりも、国や企業などの集団の利益が優先される。(略)

その構図は、先の戦争中の日本社会、すなわち「大日本帝国」時代とそっくりです。

(「まえがき」より)

ウクライナに乗じて戦前に戻したがつている者たちがいる。

原口先生のおすすめは…

914.6-ウ『百鬼園随筆』 内田 百閒 || 著 新潮社

漱石の門下生の百閒。何も用事がないのに東京から大阪に行くために人に借金をしたりと自身のぐうたらエピソードが面白いですヨ。

奈須先生のおすすめは…

913.6-1『もし高校野球部の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら』

岩崎 夏海 || 著 新潮社

敏腕マネージャーと野球部の仲間が甲子園を目指して奮闘する青春小説。高校野球の女子マネージャーのみなみちゃんは、マネージャーの仕事のためにドラッカーの『マネジメント』を間違えて買ってしまいます。はじめは難しくて後悔するのですが、しだいに野球部のマネジメントにも生かせることに気がきます。これまでのドラッカー読者だけでなく、学生から若手ビジネスパーソンなど多くの人に読んでほしい一冊。

平田先生のおすすめは…

834-1『読まずにわかる こあら式英語のニュアンス図鑑』 こあら为学校 || 著

KADOKAWA

「名詞」「動詞」「助動詞」「形容詞」「副詞」「前置詞・接続詞」の全6章構成で、覚えておきたい英語単語の使い分けやニュアンスの違いや知っておきたいことが紹介されています。すべてイラストで表現されているので、英語が苦手な人でも楽しく学習することができます！

福島先生のおすすめは…

369-ホ『保育士・幼稚園教諭 論作文・面接対策ブック』 保育士試験研究会 || 編 実教育出版社

この本は、保育士・幼稚園教諭を採用する自治体や民間法人の論作文・面接の傾向を詳しく調べ、次の2つの対策が出来るようにまとめたものです。

- ① 論作文・面接の技術的なノウハウ、ルールなどを優得する。
- ② 論作文・面接試験では、保育や子育て支援についての基本事項・課題への理解、それに対する意欲を表現することが求められるため、そのための知識や情報を確認しつつ、表現方法を習得する。

★論作文試験と面接試験は、根底の部分でつながっています。

★保育士・幼稚園教諭になるという意味をしっかりもち、求められる職務について

自分の言葉で表現できるように、書いたり話したりしてみてください。

この本は、論作文や面接試験を受ける上で、大変参考になると思います。

本多先生のおすすめは…

913.6-1『淳子のでっぺん』 唯川 恵 || 著 幻冬舎

女性にして世界で初めて世界最高峰エベレストおよび七大陸最高峰への登頂に成功した田部井淳子（たべいじゅんこ）さんをモデルにした山登りの小説です。

「エベレストに女性は無理」と言われながらも「女子だけで海外遠征を」を合言葉に、苦難を乗り越えて、次々に登頂を成功していく物語には、主人公の山に対しての熱い思いが山の描写を通して、じかに伝わってきます。読み終えた後、近くの山に行きましたが、なんでこんな辛い思いをして、山を登るのだろうと今更ながら考えてしまいました。

升田先生のおすすめは…

780-オ『勝つ人のメンタル』 大儀見 浩介 || 著 日本経済新聞出版社

勝つ人はどんなメンタル状態で勝負事に臨むのでしょうか。プラスの表情、プラスの姿勢、プラスの言動が大切。ミスをするなと思うほどミスをする。イライラしたらそこまで、ワクワクすれば伸びる。この本を通して心を鍛える方法が学べます。

丸一先生のおすすめは…

726-ツ『スラムダンク勝利学』 辻 秀一 || 著 集英社

みんな大好きスラムダンク。

と言っても私がマンガをよんだのは昨年のことですが…。時代が変わっても、スポーツマンとして大切にすべきことをスラムダンクから教えてもらいました。

そのマンガスラムダンクを題材とした、スポーツにおけるメンタルトレーニングについての本です。部活や習いごとをしていて、もう少し頑張りたい！本番に強くなりたい！と思っている方、ぜひ！

三ツ木先生のおすすめは…

B389-ウ『隣のアボリジニ』 上橋 菜穂子 || 著 筑摩書房

この本はオーストラリアの先住民であるアボリジニについて書かれた本ですが、いわゆるステレオタイプのアボリジニではなく、白人社会の中で、白人とともに暮らす人間味溢れるアボリジニの姿が描かれています。

文化も言葉も独自のものが薄れながらも力強く生きる彼らの姿を通してマイノリティの存在や先住民の問題にも興味湧いてきます。

考えさせられる本ですが、とっても読みやすかったのでおすすめです！

守谷先生のおすすめは…

367-マ『13歳からの知っておきたいLGBT+』 アシュリー・マーデル || 著 ダイヤモンド社

この紹介文を書いている6月は『プライド月間』と呼ばれ、世界中でレインボーカラーの旗がはためいています。

人間は『男』と『女』に簡単に分けられているのでしょうか。アンケートの性別欄にある『男・女』の『・』に丸をつけたくなる時がある人もいるかもしれません。そんな人たちのガイドブックでもあり、そうではない人たちにとってのガイドブックでもあります。

湯本先生のおすすめは…

①913.6-タ『君と漕ぐ』 武田 綾乃 || 著 新潮社

部活動としては非常にマイナーといえる「カヌー部」。でもそこにある女子高生たちの悩みや葛藤、そして上昇志向は、秋草で過ごす皆さんの中にもきっとあるはず。キャラクターの個性がはっきりしているので、共感できる登場人物もいるのではないかと思います。部活動に邁進している人にも、そうでない人にも是非読んでほしい一冊です。

まあなんといっても作品の舞台が「私立ながとろ高校」ですから。

秩父人としては読まない。

②『日記帳』 江戸川 乱歩 || 著 青空文庫

(図書館蔵書 913.6-ツ『コーヒーと小説』 庄野雄治 || 編 mille books に収録)

「20代男性の4人に1人がデートをしたことがない」という話題が何度もテレビ画面に現れる昨今。想いを告げて拒否されたら…と思うとなかなか一歩が踏み出せない、という思いは時代や年代に関係なく誰でも一度くらい持ったことがあるだろう。

さて、『日記帳』であるが…

亡くなった弟の日記から、彼と遠縁の娘とのハガキのやり取りがあったことを知った「私」は、一見何でもないやり取りの中に込められた秘密を見つけてしまう。ものの30分もあれば読めてしまう内容だが、終わり方が衝撃的。

山崎先生のおすすめは…

596-I『もうレシピ本はいらない ー人生を救う最強の食卓ー』 稲垣 えみ子 || 著
マガジンハウス

最近いろいろなレシピ本が出まわり、一生懸命料理を作っていますが、母や祖母は味見をしながら料理を適当に作っていました。でも、なぜかおいしい。

料理を考えるのが苦痛に感じた時に食事ということの基本を教えてもらったような気がする本です。

結城先生のおすすめは…

210-I『美の日本 「もののあわれ」から「かわいい」まで』 伊藤 氏貴 || 著
明治大学出版会

美術の授業中、アゴが出て二つに割れた仔猫のキーホルダーや半透明で薄紫色のプラスチックの筆箱を見て、誰だったか「かわいい」と言い、確かに「かわいい」と思った自分もいました。「かわいい」はそういう多様性や「あいまいさ」をもっています。この「あいまいさ」こそ日本における「美」を考えるとときにも、文化を形作る根底にずっと流れてきたものとしてありました。黄昏の空を見てエモイと思う「あなた」。それは日本文化の中で育まれてきた感性かもしれません。その源流に目を向けることができるきっかけになるような本です。

鈴木司書のおすすめは…

933-□『ハリー・ポッターと賢者の石』他 J・K・ローリング || 著 静山社

シリーズ第1巻『ハリー・ポッターと賢者の石』が日本で翻訳・出版された1999年以来、何度も紹介してきましたが、もう一度させてください。今夏、ハリー・ポッター第8の物語といわれる「ハリー・ポッターと呪いの子」の日本語舞台が東京で始まります。また来年には豊島園跡地に「スタジオツアー東京-メイキング オブ ハリー・ポッター」もオープン予定です。USJ以外にも魔法界が広がっているのです。十分楽しむためにもぜひ原作を読んでその深さを知っておいて欲しいのです。皆さんが生まれる前に始まった物語ですが、今読んでも違和感なく楽しめると思います。ホグワーツ魔法魔術学校で学ぶハリー、ロン、ハーマイオニーたちの成長や友情はもちろん、魔法界の不思議な道具や生物にも興味が尽きません。登場人物の一人一人がそれぞれの思いを大切に生きています。すでに読んだ人も、本校図書館には英語の原著もそろっているのでそちらに挑戦するのもお勧めです。

今井司書のおすすめは…

933-Z『自由研究には向かない殺人』 ホリー・ジャクソン || 著 東京創元社

自由研究といえば、夏休みの宿題の定番です。みなさんも色々な自由研究に取り組んできた思い出があるのではないのでしょうか。

自由研究の難しさはまずテーマ決めにあると思いますが、この物語の主人公ヒップはなんと殺人事件の真相を暴くことを自由研究にします。高校生探偵でもなければ、名探偵のおじいさんの血を継いでいるわけでもない普通の女子高生がなぜ殺人事件を追うことにしたのか。コツコツと事件関係者にインタビューを続けていく中で果たしてヒップは真実にたどり着けるのでしょうか。この夏みなさんもヒップと一緒に事件を解くカギを探してみませんか。